
開講科目名：財務諸表論特殊研究（A）（2単位）

開設年次：1年

開設学部：会計学研究科博士前期課程会計学専攻

担当者：友杉 芳正

《授業の概要》

（授業の目標）

会計学の領域の中で財務諸表論の基本的問題を中心に研究するものである。投資者の投資意思決定に有用な会計情報を提供する金融商品取引法会計が中心となるが、関連箇所では会社法会計としての計算書類なども取り上げる。制度上は、連結会計が中心であるが、講義では逆に個別会計から説明する。まず、会計とは何かの基本的枠組み、静態論・動態論・新静態論、損益会計、資産会計、負債会計、純資産会計の説明後、公正価値会計へ進展している株式会社会計を取り上げ、財務諸表論の目的・体系・本質を理解する。主に講義形式で行うが、必要に応じて各自からの報告や確認テストなどを行う予定である。

（授業の内容）

- 1財務会計論と財務諸表論の関係
- 2損益計算書
- 3貸借対照表
- 4キャッシュ・フロー計算書
- 5企業会計原則
- 6一般原則
- 7真実性の原則
- 8損益計算原則
- 9資産概念
- 10固定資産の減損会計
- 11繰延資産
- 12負債会計
- 13引当金会計
- 14純資産会計
- 15株式会社会計

（評価方法）

試験点60%、レポートなど提出点20%、その他平常点20%による総合評価を行う。

《テキスト》

進度に応じて、適宜指示する。

《参考書》

進度に応じて、適宜指示する。